

# 見附駅周辺まちづくり協議会 第4回会議 議事録（概要）

## 1 開催日時等

日時：平成30年6月19日（火）13：30～15：00

場所：見附市役所5階委員会室

## 2 議事概要

- ・ 第3回までの意見を踏まえて作成した整備基本計画書（案）を示し、委員への承認を求めた。
- ・ 第3回で検討が必要となった交流広場等の整備による賑わいや交流の促進に関し、駅前カフェの取組や駅をつかう立場からの意見を踏まえ理解が進んだことから、見附駅周辺整備基本計画書（案）について承認された。

## 3 主な意見

### 【議題①前回までの協議会の振り返り、議題②「みつけ駅前カフェ」の実施とその成果について】

#### （事務局より協議会資料1、資料2を説明）

- ・ 駅前カフェの取組の報告を受けて、前回協議会の議論を経て市民の意見をしっかり聞いて計画に反映するような取組を進められたのは大変素晴らしい。
- ・ 大事なのは空間を使うことであり、駅前カフェなどの活動を通じてたくさんの方々に使われるようになればよいと思う。
- ・ 駅前広場の計画や駅前カフェの取組は、関心のない一般の方々にはわかりにくい。そのためこの事業を理解するリーダーがひっばっていかないとうまく進まないのではないかと。

### 【議題③見附駅周辺整備基本計画書（案）について】

#### （事務局より協議会資料3を説明）

- ・ 交流広場と交通とのミスマッチが懸念される。排気ガス等の影響が交流広場に及ばないように留意して欲しい。
- ・ 整備工事は東口駅前広場から着手するのか。また、自由通路などは災害時に対応しているか。

（事務局）→ 施工手順については工事の展開や工事中の仮設動線なども含めて検討中であり、先に駐車場を整備して送迎車両の受け入れ先を確保してから駅前広場の工事に着手することなども含めて検討している。自由通路等の施設については、耐震性などは確保したものを整備する。

- ・ 自由通路の風雪対策など冬場の対策は詳細を詰めていく段階で考慮してほしい。また見附駅のまわりにはおみやげを買えるところがない。今後駅前カフェの議論が具体化されていくなかで土産屋などもできるとよい。
- ・ 駐輪場の2階が交流広場になることは良いと思う。一方で2階に駐輪できなくなることで駐輪台数の容量は問題ないか。

（事務局）→ 現在は日通倉庫の裏などにランダムに置かれている駐輪を整理し、駐輪場の1階とそこに隣接した地上部分に平置き型の駐輪スペースを確保することで対応していきたいと考えている。

- ・ 高校生をターゲットとした交流空間ができるのは良いが、見附には駅から離れたところにもコミュニティの場所や見どころが整備されているため、駅に来た人だけでなくさらに外から人を集める空間を検討してはどうか。電車で見附に来て、そこからさらに見附市いろいろな見所に行けるようになると良い。

- ・ 駐輪場の2階や駅舎の待合空間も含めて交流空間とすることを想定しているが、24H利用できると防犯上心配がある。厳しい様だが、時間を区切るなど適切に管理して欲しい。  
(事務局) → 駐輪場の2階や駅舎の待合室などの管理についてはまだ検討が及んでいない。ご指摘内容を参考に今後検討していきたい。
- ・ 駅前には1年に1回以上は必ず冠水する。整備メニューのなかには雨水貯留槽という説明があるが、これは確実に整備されるか。  
(事務局) → 雨水貯留槽は駐車場整備と合わせ、駐車場の地下部を活用して整備する。
- ・ 駅前広場から出てくる自転車が問題。現在は駅前から出て、道路を乱横断する自転車により歩行者、クルマなどが輻輳し大変危険な状態であるため、安全対策についても検討して欲しい。  
(事務局) → 自転車の対策はまだ課題であり、今後引き続き検討を進めたい。
- ・ 駅利用者送迎用駐車場の料金はどうか。無料にすると駅に用事もなくずっと停める車も出てくるのではないか。  
(事務局) → JRのパークアンドライド駐車場との役割分担も含めて駐車場を無料とするか有料とするかなど運営は今後検討していく。

#### 4 見附駅周辺整備基本計画書(案)の承認

- (議長) 自転車の動線、駐輪場の台数確保、お土産を買える場所など本日の意見は引き続き検討していくことを前提とするが、本基本計画書(案)を基本計画として取りまとめたが承認をいただけるか。  
(一同) 異議なし。

#### 5 学識者の意見

- ・ 駅前カフェでは高校生の生徒会の方々が積極的に参加し、発言してくれたことで見附市の将来に期待が持てた。協議会でも大変熱心な議論が交わされ有意義な会だった。
- ・ 駅前カフェでは高校生の熱意に感激した。彼ら・彼女らは見附市が好きという気持ちがある一方で不安も感じていて、高校のクラブが存続できなくなるなど人口減少なんかの時事とも関連付け自分ごととして考えている。駅前カフェは概念としてのカフェだったが、社会実験などを通じて実際に駅前にカフェができるなどかたちとして定着していくことを期待している。こういった取組は参加していない人には伝わらないというジレンマがある。これは厄介な問題であるため、駅前カフェのような緩いかたちで参加してもらえるものがあると良い。
- ・ 駅前カフェは幅広い年代の方々が交流することを楽しんでいてとても良い会だったが、この協議会もとても雰囲気が良いと感じた。協議会のメンバーは駅前広場再整備の実現を願いながら、留意すべきところをちゃんと言い合える関係になっている。温かい見守りの関係が駅前カフェにも協議会にもあって大変良かった。できることならこういう関係性を大切に続けていってほしい。今後も引き続き協力させていただきたい。